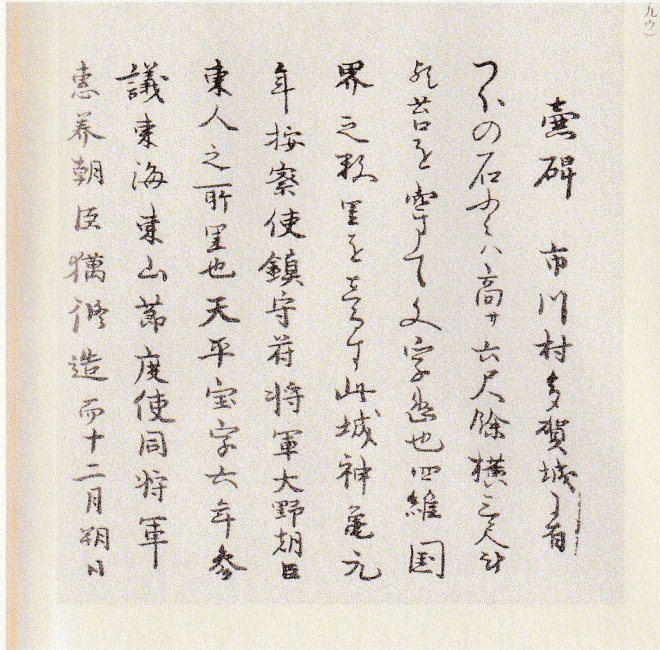


奥の細道より抜粋



***壺の碑について (読み下し文) ***

仙台宮城郡市川村(注1) 尔ある壺の碑(いじぶみ) (壺は)、多賀城の門牌にて、壺の碑にハあら須。風土記に取り連

の事、ままあねば、此所尔裏の壺乃碑ある事ハ

大辺郡(へんび)故尔知ら須して、多賀城の門牌を見いだ

し、い尔じえ門前を坪といひじ故に誤り、後世尔至り

て、彌(いよいよ)取り違ひたるものなるべし。

注1…宮城県多賀城市大字市川

(読み下し文)

壺の碑 市川村多賀城尔有

つぼの石ぶみハ、高サ六尺余、横三尺斗ばかり

坎_カ。苔を穿ちて文字幽也。四維_カ国

界之數里をしるす。「此城、神龜元

年、按察使鎮守符將軍大野朝臣

東人之所置也。天平宝字六年、参

議東海東山節度使、同將軍

惠美朝臣(朝) 猶修造而十二月朔日